

生物多様性の保全に配慮した都市緑化事例集

ねらい

この事例集は、生物多様性の保全へ配慮した取組みを進めようとする主体が、事業を推進の際の参考資料として活用できるよう、生物多様性への配慮の目的に応じて、整備・取組みや維持管理の手法、協働者との関わり等を具体的に示しています。事例集作成にあたっては、生物多様性への配慮に向け、既に取り組みを実施している皆様には、より高度な手法や他の取組み内容を検討するため、また、これから新たに取組みを実施する皆様には、取組みたい項目や事業効果を参照しながら積極的に事業を推進していける参考資料として利用できるよう配慮し作成しています。

項目の区分

生物多様性保全の配慮のための具体的なアクションとしては、生物が生息する環境の「保護・保全」「整備・創出」「システムづくり」「調査・研究」の4つに大別できます。

この事例集の作成にあたっては、この4つのアクション毎に、生物多様性の保全への配慮項目・取組み事例をまとめています。

保護・保全	生物多様性に富んだ水辺、樹林地などの保全のために、郷土種・在来種の保全、貴重種の保全など、今ある環境を保全する取組みや、外来種の駆除による生態系のかく乱を防ぐことや、自然遷移を手助けする取組み事例
整備・創出	現在、特に生物多様性に富んだ環境ではないものの、公園整備や河川改修等にあわせて、鳥類の繁殖の場となるような林地の整備、また、池、流れの造成、湿生植物の植栽などによるビオトープとなる水辺、湿地、護岸などの取組み事例
システムづくり	生物多様性の保全への配慮に向けて、樹木や水辺等を対象としたスポット的な取組みではなく、ある程度の距離を移動する生物の生息生育環境への配慮に向け、まとまりのある地域（公園全体や企業の敷地全体）や市全域を対象とし、エコトーンやエコロードの創出、エコアップ等の総合的な取組み事例
調査・研究	様々な生物相の調査、経年的な変化をみるためのモニタリング等、生物多様性の現況・事業効果を把握するための調査・研究に係る取組み事例

構成と内容

本事例集の紙面構成は、以下のとおりです。

1

対象地概要

所在地

面積

実施主体

問合せ先

2

事例の名称

3

事例の所在地等

4

対象地の概要

5

事業への取組のきっかけ

6

整備・取組の概要

7

維持管理の内容

8

事業効果

9

備考

掲載項目と事例

この事例集は、生物多様性の保全に配慮した「保護・保全」「整備・創出」「システムづくり」「調査・研究」等の項目に沿って25の取組み事例を掲載しています。

アクション	項目	事例名称（カッコ内は所在地）
保護・保全	郷土種・在来種の保全	1 高田野鳥公園（千葉県柏市）、2 島田緑地（愛知県名古屋市中区）
	外来種の駆除	3 荒川・砂町水辺公園（東京都江東区）
	貴重種の保全	4 幸公園（愛知県豊橋市）、5 根木内歴史公園（千葉県松戸市）
	自然遷移の実施	6 駒場野公園（東京都目黒区）
整備・創出	郷土種・在来種の植栽	7 本多静六博士の森（埼玉県久喜市）
	鳥類に配慮した空間形成	8 大成建設技術センター（神奈川県横浜市）
	昆虫類に配慮した空間形成	9 長後第一公園（神奈川県藤沢市）
	ビオトープの整備	10 岡南小学校（岡山県岡山市）、11 平山小学校（東京都日野市）
	水辺環境の整備	12 黒目川（埼玉県朝霞市）、13 中川（埼玉県久喜市）
	湿性植物・水際植物の植栽	14 夫婦池公園（神奈川県鎌倉市）
	食餌木・蜜源植物等の植栽	15 目白の森（東京都豊島区）
	多自然型護岸の整備	16 善峰川（京都府京都市）、17 原田川（静岡県静岡市）、18 境川（神奈川県相模原市）
システム	エコトーン・エコロードの創出	19 霞川（埼玉県入間市）
	総合的なエコアップの取組み	20 富士通沼津工場（静岡県沼津市）、21 新宿中央公園（東京都新宿区）、22 ちばリサーチパーク（千葉県佐倉市・千葉市）
調査・研究	モニタリング調査の実施	23 京浜臨海部（神奈川県横浜市）
		24 古淵鵜野森公園（神奈川県相模原市）、25 多摩川（神奈川県川崎市）

- 1 区分した項目

生物多様性の保全に配慮した4つのアクションに沿った具体的な配慮項目で、当該頁はここで示した配慮項目の具体的な整備や維持管理の概要を示している。
- 2 事例の名称

対象施設の名称を示している。
- 3 事例の所在地等

対象施設の所在地、面積（河川の場合は延長）、取組みの実施主体、問合せ先等を示している。
- 4 対象地の概要

対象施設を取り巻く自然特性、施設内の特徴、生物の生息にかかわる特徴等を示している。
- 5 事業への取組のきっかけ

対象施設の整備・事業を実施するにあたったきっかけを示している。
- 6 整備・取組の概要

対象施設における生物多様性に配慮している様々な項目のうち、特に①で区分した項目にかかわる内容について、整備・取組みの手法、協働者との関わり、留意点を示している。
- 7 維持管理の内容

対象施設における生物多様性に配慮している様々な項目のうち、特に①で区分した項目にかかわる内容について、維持管理の手法、協働者との関わり、留意点を示している。
- 8 事業効果

⑥⑦で示した整備・取組み、維持管理を実施した後、生物の生息状況についての変化・効果を示している。
- 9 備考

生物多様性の保全への配慮に関して、現在の課題や今後の展望等を示している。